

# 第1部 大学生の部

---

## I 調査概要

### 1. 調査対象者

研究担当者が勤務する大学（東洋大学社会学部および立正大学文学部）の授業クラス出席者を対象とした。

### 2. 調査実施

教室において調査票を配布して自記式で回答してもらう集合調査を行った。  
11月から12月にかけて実施した。

### 3. 回収サンプル

回収サンプル数は以下の通りである。

東洋大学 475名

立正大学 191名

## Ⅱ 調査結果

### 1 サンプルの特性

以下にサンプルの特性を列記するが、  
数字はパーセンテージ、分母は東洋大学 475、立正大学 191、全体 666 である。

#### ① 性別

	男性	女性	無回答
東洋大学	56.2	42.7	1.1
立正大学	52.9	47.1	-
全体	55.3	44.0	0.8

#### ② 年齢別

	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	無回答
東洋大学	7.2	20.6	21.1	26.3	17.9	5.3	1.7
立正大学	15.2	34.6	19.4	13.6	8.9	7.9	0.5
全体	9.5	24.6	20.6	22.7	15.3	6.0	1.4

#### ③ アルバイトの経験

	現在している	経験はあるが現在はしていない	経験はない	無回答
東洋大学	70.9	24.8	3.2	1.1
立正大学	64.9	30.4	4.7	-
全体	69.2	26.4	3.6	0.8

#### ④ 居住形態

	一人暮らし	同性の友人と同居	異性の友人と同居	家族と同居	無回答
東洋大学	30.3	1.1	0.8	66.7	1.1
立正大学	47.1	-	1	51.8	-
全体	35.1	0.8	0.9	62.5	0.8

⑤ 家族人数

	1人~3人	4人	5人	6人以上	無回答
東洋大学	15.4	41.5	25.1	15.3	2.7
立正大学	16.2	39.8	26.7	16.7	0.5
全体	15.7	41	25.5	15.8	2.1

⑥ 兄弟姉妹関係

	一人っ子	2兄弟		3人以上の兄弟			無回答
		長子	末子	長子	間	末子	
東洋大学	6.1	30.7	28.2	9.9	9.5	11.4	4.2
立正大学	7.9	26.2	33.0	7.9	15.2	9.4	0.5
全体	6.6	29.4	29.6	9.3	11.1	10.8	3.2

⑦ 居住形態

	一戸建て	集合住宅	大学の寮	無回答
東洋大学	55.8	41.3	0.8	2.1
立正大学	44.5	47.6	7.3	0.5
全体	52.6	43.1	2.7	1.7

⑧ 車の所有および運転

	自分専用の車を持っている	家族と共有の車に乗っている	免許は持っているが車には乗らない	免許を持っていない	無回答
東洋大学	10.3	28.8	21.7	37.9	1.3
立正大学	8.4	16.2	22.5	52.9	1.3
全体	9.8	25.2	21.9	42.2	0.9

⑧ 1ヶ月の使用可能金額

	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	無回答
東洋大学	54.5	37.5	6.2	1.7
立正大学	69.6	27.2	3.1	-
全体	58.9	34.5	5.4	1.2

以上を総覧して言えることは、年齢構成を除いて両大学のサンプル特性が極めて類似していることである。年齢に関しては、立正大学の場合は1、2年生のみのクラスを対象としたのに対して、東洋大学の場合には3、4年生のクラスをも含めたため、立正大学では20歳未満の未成年者がほぼ半数（49.8%）を占めるのに対して、東洋大学の方は21歳以上の者が半数（49.5%）となっている。

このことが、運転免許証の所有状況や1ヶ月の使用可能金額などにみられる両校間の多少の差に関係していると考えられる。

ただ今回の調査は、厳密なサンプリング調査ではなく、統計学的に有意なデータを収集することよりも、インターネット利用と非行犯罪の関係を探索的に分析することを中心としたパイロット調査であるので、両大学間の総体的な類似性に依拠して、以下の分析は両者をまとめた全体（666名）を対象として行うこととする。